

令和5年度 ほうなん子ども園の自己評価について

ほうなん子ども園

自己評価というのは、自己申告で行われるものです。

これによって「保育者全員が一定の水準で評価されている」ということを知ることができモチベーション向上につなげていきます。

園にとりましても、職員同志の信頼関係はとても重要であり、一人ひとりの成長は園の成長にもつながってまいります。

モチベーションを高く保つためにも、自己評価は大変意味のあるものだと思います。

よって、ほうなん子ども園では、自己評価の結果を下記の通り HP にて公表いたします。

★自己評価は年に2回行う（10月末、3月末）

★項目については、今後改善・追加等を行う

下半期自己評価について

コロナが落ち着いたことにより、保育内容、行事等がコロナ前に戻りつつあります。

園としては職員数や保育環境の整備に真摯に向き合わなければいけない中、職員一人ひとりが自分がいま何をすべきか、子ども達の目覚ましい日々の成長の中でどう向き合っていくのかをしっかりと考え、行動し、また、職員間でわだかまりなく相談し話し合っている姿が日々見られ、確実に前へと進んでいく意識が高まっているように思われます。

ほとんどの職員が記述しておりますように、職員間で共通理解を深め、気軽に相談し合い、話し合い決定していくことで、仕事に対する意欲や意識が高まり、よりよい保育へと繋がっていくのだと思います。

今後も、自己評価表を一つのきっかけとし、保育教諭としての仕事に誇りを持ち、よりよい教育・保育を目指し共に歩んでいって欲しいと思います。

【評価基準について】

- A … 90%以上 達成できている状態
- B … 70～89% あと少しで達成・取り組みなど頑張っている
- C … 50～69% 頑張って取り組まなければいけない状態
- D … 49%以下 ほとんどできていない

自己評価表

令和5年度下半期 幼保連携型認定こども園

ほうなん子ども園自己評価表まとめ

| 評価項目 | | 評価 |
|---------|--|----|
| 運営管理 | ① ほうなん子ども園の施設の目的・運営方針・保育目標の周知を職員や保護者などに図っている。 | A |
| | ② 定期的な職員会議等を通して 職員の資質向上業務効率化や改善に努めている。 | A |
| 守秘義務 | ① 園児の個人記録は個人情報法に基づいて管理・保管している。 | A |
| | ② 園内で知りえた事柄について守秘義務を徹底している。 | A |
| 安全・危機管理 | ① 事故災害時のマニュアルがあり、職員がすぐに見ることができる所にある。 | A |
| | ② 外部からの侵入者に対し対応策がなされ訓練が行われている。 | A |
| | ③ 緊急時の為に医療機関等の連絡先等が明示されている。 | A |
| | ④ 園内の施設設備・遊具等の安全点検は定期的実施している。 | A |
| 教育・保育環境 | ① 教育・保育環境を常に清潔に保ち、心地よい環境で教育・保育ができるように努めている。 | A |
| | ② 室内の温度、湿度、換気、照度等は園児の活動に合わせて配慮している。 | A |
| | ③ 屋外での活動の場があり、園児が安全に活動しやすい環境を整えている。 | A |
| 健康管理・衛生 | ① 園児の健康診断は定期的実施され、その結果は職員や保護者に伝達され教育・保育に反映させている。 | A |
| | ② 日々の園児の健康状態を観察し、一人ひとりの体調に合わせてた教育・保育を心掛けている。 | A |

| | | | |
|--------------------|---|--|---|
| 教育・ 保育内容 | ① | すべての園児について、一人ひとりの最善の利益とその人権を尊重している。 | A |
| | ② | 園児に分かりやすい温かな言葉づかいで穏やかにはなしをしている。 | A |
| | ③ | 基本的な生活習慣は、園児の発達を考慮し、家族と連携して状況に応じて対応している。 | A |
| | ④ | 園児の発達に応じた玩具や遊具を室・量ともに適切に用意している。 | A |
| | ⑤ | 身近な自然に触れる機会を用意し、季節感や豊かな感性をはぐくむ配慮をしている。 | A |
| | ⑥ | 園児同士のかかわりで、順番を守るなどの社会的ルールを身につける配慮をしている。 | A |
| 食育 | ① | 旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている。 | A |
| | ② | 園児の発達に応じ食事の介助を適切に行い、落ち着いた環境で和やかに楽しく食事ができる環境がある。 | A |
| | ③ | 毎月の献立は保護者に示され、毎日の食事の状況を保護者に知らせている。 | A |
| | ④ | 食物アレルギーのある園児は管理栄養士、栄養士、調理員、職員で密に連絡を取り、除去食等で対応している。 | A |
| 子育て支 援・ 地域交流 | ① | 園児の送迎時に、園児の様子を伝えている。 | A |
| | ② | 虐待防止マニュアルがあり、虐待の早期発見に努めている。 | A |
| | ③ | 保育参観等の機会を設け、保護者に教育・保育を理解してもらう工夫をしている。 | A |
| | ④ | 地域交流・中学生の職場体験・実習生の受け入れ体制について、その意義や方針を、全職員が理解している。 | A |

令和5年度下半期(11月~3月) 自己評価のまとめ

ほうなん子ども園

『園の目標』(令和5年度)

- ・今年度より取り入れた「自己評価表」に基づき、定期的に自分を見つめ直す。
- ・職員会議・学年会議・園内研修等を開き、保育の質の向上を図りたい。

『各自の目標・反省点・感想等』(下半期)

- ・行事等、職員間で話し合いながら新しい試みにチャレンジでき、園長先生のご指導のもと、満足いく内容になったと思う。これからも協力して頑張っていく。
- ・下半期は、行事の多い時期ではあったが、職員同士協力し、円滑に進めることができた。
- ・何気ない会話ややり取りの中で、子ども達との密なかかわりを持ち、気持ちに余裕をもって保育ができるよう努めた。また、行事前にも余裕を持った行動ができるよう準備やシュミレーションを大事にしていきたい。
- ・日頃の保育や行事等の狙い・改善点を職員間で話し合うことで、子ども達の達成感や、保護者の満足感につながったと思う。
今後も職員間で共通理解を深め、子ども達の成長を育むことができるような保育をしたい。
- ・日々の保育の中で、子どもの成長に合わせ臨機応変に対応することができた。
保護者とも、密にコミュニケーションがとれたと思う。
行事では、新しいことを取り入れて良いものが完成したと思う。
今後も職員間で意見を出し合っていきたい。
- ・子ども達一人ひとりに丁寧な対応をしていこうと心掛けたが、日々の保育の中で余裕がなくなることがあり、思い描いていた関わり方ができないこともあった。
- ・コロナ禍により制限がかかっていた保育が通常に行えるようになり、良かったと思う反面、職員数が少ない中で種々配慮をしないといけない場面も多かったが職員間で話し合いや相談をする時間を欠かさなかったことで、問題なく終えることができたと思う。意見が出しやすい雰囲気がとても良いと思う。
- ・日々の保育や行事において、職員間で協力し合い、進めていくことができたと思う。行事では、新しい取り組みを試してみることにより、職員の意欲も高まり、子ども達も楽しみながら良い成果をあげることができた。
来年度は、職員の数や配置等を鑑み、乳児と幼児が合同でできる行事内容や、

コロナも落ち着いたため、子育て支援活動事業として未就園児の親子はもちろん後援会の活動も計画を立てて実施するなど、充実した取り組みを職員間で相談していきたいと思う。

- ・自分の仕事に責任を持ち、保育がスムーズに行えるようサポートしていきたい。
- ・環境整備や清掃など、自分から気づけるようにしたい。
子ども達ともっとコミュニケーションをとり、名前を覚えてもらえるように頑張りたい。
- ・昨年度に比べて、子ども達の名前はもちろん、一人ひとりの性格などが分かるようになり、接し方の幅が以前より広がったように感じる。
今後も、先生方のサポートに尽力しつつ、子ども達にたくさん目を向けていきたいと思う。

『今後の課題』

- ・職場の環境、職員数、配置等を考慮し、日々の保育や行事が効率よく行えるように工夫する。
- ・園の保育理念に沿って、職員が同じ目標に向かって保育・教育ができるようにしたい。
- ・自分の学んできたことを大切にしながら、心に余裕をもって職員間で協力し、助け合いながら保育を行う。
- ・来年度の、子育て支援事業、未就園児支援活動等の実施に向けて職員間で話し合い、より充実した内容で進めていきたい。

以 上